

平成 28 年度

教育に関する意識調査の結果

平成 28 年 6 月

帯広市教育委員会 学校教育部

## 目 次

---

1	調査の目的	1
2	調査の概要	1
	(1) 調査期間	1
	(2) 調査対象、調査方法、回収率等	1
3	回答者の属性	1
4	調査結果の概要	2
	(1) 児童生徒の結果概要	2
	(2) 保護者の結果概要	12
5	資料編	27
	(1) 小学5年生集計結果	29
	(2) 中学2年生集計結果	43
	(3) 小学5年生保護者集計結果	55
	(4) 中学2年生保護者集計結果	70
	(5) 自由記述	83
	(6) 調査表	85

# 教育に関する意識調査結果の概要

## 1 調査の目的

本調査は、市内の児童生徒とその保護者を対象に、学校生活や学校教育全般に関する意識、学校規模、家庭教育、地域とのかかわり、及び小中連携などを調査することにより、今後の学校教育の充実に向けた基礎資料とすることを目的とする。

## 2 調査の概要

(1) 調査期間 平成 28 年 4 月 15 日(金) ～ 平成 28 年 5 月 13 日(金)

(2) 調査対象、調査方法、回収率等

調査区分	調査対象及び調査方法	配布数	回収数及び率
小学校調査	市内の小学校 26 校の 5 年生、各 1 学級の児童及びその保護者を対象に、学校を通じて調査票を配布・回収した。(無記名)	児童：700 通	676 通 回収率：96.6%
		保護者：705 通	602 通 回収率：85.4%
中学校調査	市内の中学校 14 校の 2 年生、各 1 学級の生徒及びその保護者を対象に、学校を通じて調査票を配布・回収した。(無記名)	生徒：423 通	412 通 回収率：97.4%
		保護者：422 通	387 通 回収率：91.7%

## 3 回答者の属性

調査区分	回答者の属性	
小学校調査	○児童 n=676	男女比： 男子 51.0% 女子 48.5% 無回答 0.4%
	○保護者 n=602	男女比： 男性 8.3% 女性 91.2% 無回答 0.5% 年齢構成：  ■ ①20歳代 □ ②30歳代 ■ ③40歳代 □ ④50歳代 ※ ⑤60歳代 ■ ⑥無回答
中学校調査	○生徒 n=412	男女比： 男子 53.4% 女子 46.6%
	○保護者 n=387	男女比： 男性 9.3% 女性 90.2% 無回答 0.5% 年齢構成：  ■ ①20歳代 □ ②30歳代 ■ ③40歳代 □ ④50歳代 ※ ⑤60歳代 ■ ⑥無回答

※データ処理について：パーセンテージの算出にあたっては、小数点以下第2位を四捨五入していることから、全体合計が100%にならない場合がある。

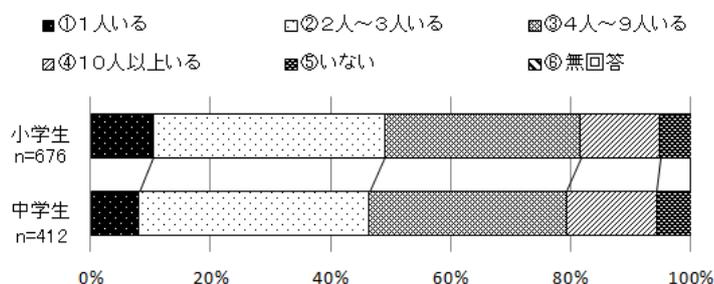
## 4 調査結果の概要

### (1) 児童生徒の結果概要

#### I 普段考えていることや感じていることについて（問1～問3）

##### 問1 信頼して何でも相談できる仲のよい友だちはいますか？

回答選択肢	小学生	中学生
①1人いる	10.4%	8.0%
②2人～3人いる	38.6%	38.3%
③4人～9人いる	32.7%	33.0%
④10人以上いる	13.2%	15.0%
⑤いない	4.9%	5.3%
⑥無回答	0.3%	0.2%
計	100.0%	100.0%



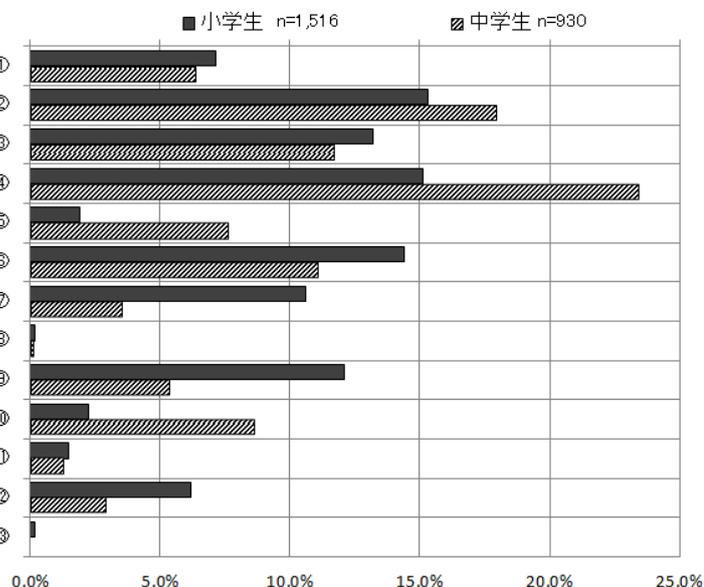
□小学5年生 「2人～3人いる」が最も多く38.6%、次に「4人～9人いる」が32.7%と続く。

□中学2年生 「2人～3人いる」が最も多く38.3%、次に「4人～9人いる」が33.0%と続く。

※ほとんどの児童生徒が、仲のよい友だちは1人以上いますが、仲のよい友だちがいない児童生徒が約5%程度います。

##### 問2 今、あなたが夢中になっていることは？

回答選択肢	小学生	中学生
①勉強	7.1%	6.3%
②趣味	15.3%	18.0%
③友だちづきあい	13.2%	11.7%
④スポーツ活動(少年団活動・部活動含む)	15.1%	23.4%
⑤音楽や絵画などの文化活動(少年団活動・部活動含む)	1.9%	7.6%
⑥読書	14.4%	11.1%
⑦ピアノや水泳、英語などの習い事や塾	10.6%	3.5%
⑧ボランティア活動	0.2%	0.1%
⑨遊び	12.1%	5.4%
⑩メールやインターネットなどによる交流などのコミュニケーション	2.2%	8.6%
⑪その他	1.5%	1.3%
⑫特にない	6.2%	2.9%
⑬無回答	0.2%	0.0%
計	100.0%	100.0%



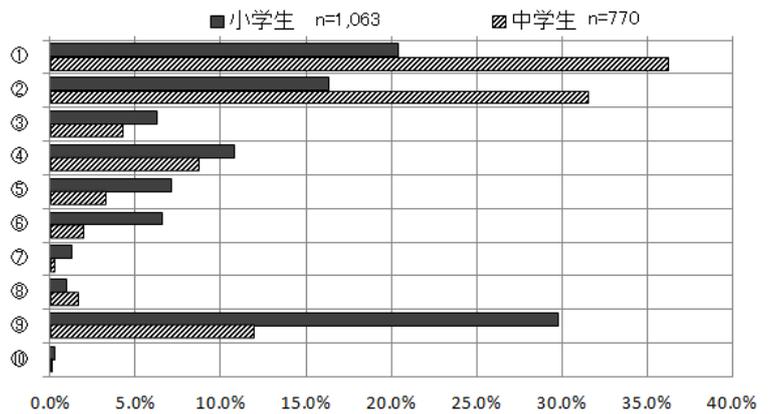
□小学5年生 「趣味」が15.3%、「スポーツ活動」が15.1%、「読書」が14.4%と続く。

□中学2年生 「スポーツ活動」が23.4%、「趣味」が18.0%、「友だちづきあい」が11.7%と続く。

※中学生では、小学生で多かった「読書」、「遊び」などの回答割合が減少し、「文化活動」や「メールやインターネットなどによる交流などのコミュニケーション」の回答割合が増加しています。

### 問3 あなたが悩んでいることは？

回答選択肢	小学生	中学生
①勉強や成績のこと	20.4%	36.2%
②進学や将来のこと	16.4%	31.6%
③家庭内のこと	6.3%	4.3%
④友だちのこと	10.8%	8.7%
⑤好きな人のこと	7.1%	3.2%
⑥からだや性に関すること	6.6%	1.9%
⑦いじめに関すること	1.3%	0.3%
⑧その他	0.9%	1.7%
⑨特に悩みはない	29.8%	11.9%
⑩無回答	0.3%	0.1%
計	100.0%	100.0%



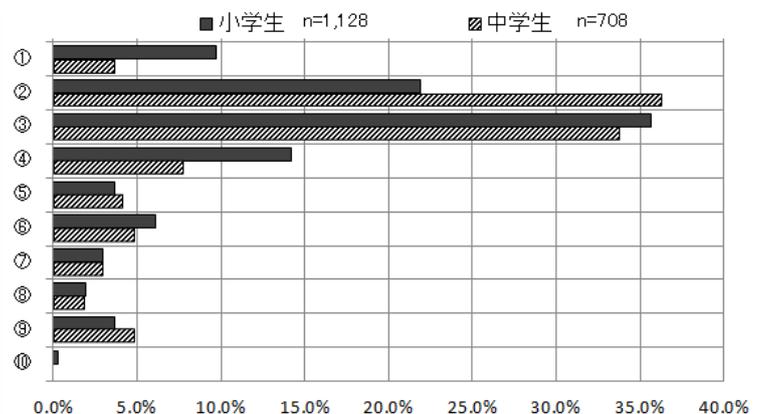
□小学5年生 「特に悩みがない」が29.8%であるが、悩んでいることでは「勉強や成績のこと」が最も多く20.4%、次いで「進学や将来のこと」が16.4%と続く。

□中学2年生 「特に悩みがない」が11.9%、悩んでいることでは「勉強や成績のこと」が最も多く36.2%、次いで「進学や将来のこと」が31.6%と続く。

※小中学生とも、「勉強や成績」「進学や将来のこと」が多い回答ですが、中学生では、より回答割合が増加しています。

### 問4 あなたは何のために勉強をしていますか？

回答選択肢	小学生	中学生
①勉強することが楽しいから	9.8%	3.7%
②受験に必要だから	21.9%	36.3%
③自分がやりたい仕事につくために必要だから	35.6%	33.8%
④世の中で役に立つ人になりたいから	14.2%	7.8%
⑤友だちに負けたくないから	3.6%	4.1%
⑥勉強しなさいと家の人に言われるから	6.1%	4.8%
⑦お金持ちになりたいから	2.9%	3.0%
⑧みんながやっているから	2.0%	1.8%
⑨その他	3.6%	4.8%
⑩無回答	0.3%	0.0%
計	100.0%	100.0%



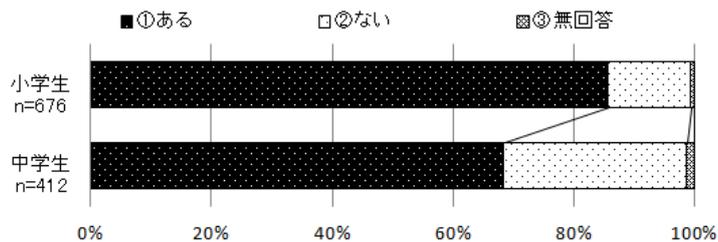
□小学5年生 「自分がやりたい仕事につくために必要だから」が最も多く35.6%、次に「受験に必要だから」が21.9%、「世の中で役に立つ人になりたいから」が14.2%と続く。

□中学2年生 「受験に必要だから」が最も多く36.3%、次に「自分がやりたい仕事につくために必要だから」が33.8%と続く。

※小中学生とも、「受験に必要だから」「自分がやりたい仕事につくために必要だから」が多い回答ですが、中学生になると、「受験に必要だから」が最も多い回答割合となっています。

### 問5 あなたは、将来なりたいと思っている職業があるか？

回答選択肢	小学生	中学生
①ある	85.8%	68.4%
②ない	13.6%	30.3%
③無回答	0.6%	1.2%
計	100.0%	100.0%



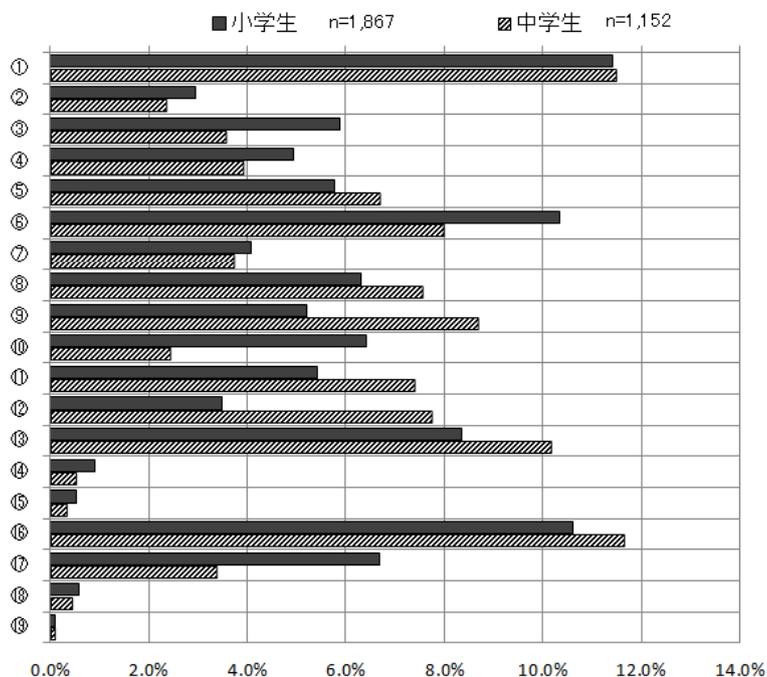
□小学5年生 「ある」が85.8%、「ない」が13.6%となっている。

□中学2年生 「ある」が68.4%、「ない」が30.3%となっている。

※中学生では、なりたい職業が「ある」が減少し、「ない」の回答割合が増加しています。

### 問6 大人になったときに、特に大切なことは何？

回答選択肢	小学生	中学生
①大人になってからの生活で困らない学力	11.4%	11.5%
②高い学力	2.9%	2.3%
③英語などの外国語を活用する力	5.9%	3.6%
④コンピューター機器などを使える力	4.9%	3.9%
⑤自分の知識や能力を生活にいかす力	5.8%	6.7%
⑥目標に向かって努力できる力	10.3%	8.0%
⑦自分で身の回りの問題を解決できる力	4.1%	3.7%
⑧良いことと悪いことを区別する力	6.3%	7.6%
⑨人との接し方や友達をつくる力	5.2%	8.7%
⑩丈夫で、健康な体をつくる力	6.4%	2.4%
⑪自分でやったことに責任をもつ態度	5.4%	7.4%
⑫社会や集団のルールを守る態度	3.5%	7.7%
⑬他人のことを思いやる心	8.4%	10.2%
⑭昔からの伝統や文化を大切にすること	0.9%	0.5%
⑮芸術や文化に親しむ心	0.5%	0.3%
⑯人のために行動できる心	10.6%	11.6%
⑰生命の大切さや自然を愛する心	6.7%	3.4%
⑱その他	0.6%	0.4%
⑲無回答	0.1%	0.1%
計	100.0%	100.0%



□小学5年生 「大人になってからの生活で困らない学力」が最も多く11.4%、次に「人のために行動できる心」が10.6%、「目標に向かって努力できる力」が10.3%と続く。

□中学2年生 「人のために行動できる心」が最も多く11.6%、次に「大人になってからの生活で困らない学力」が11.5%、「他人のことを思いやる心」が10.2%と続く。

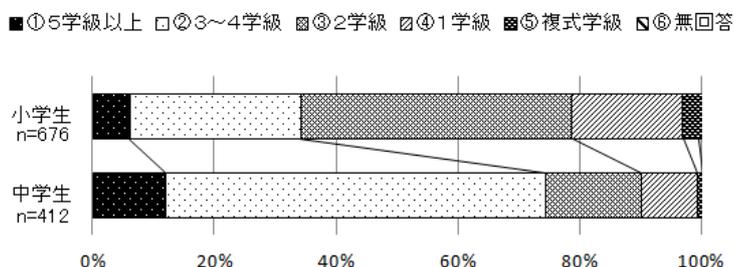
※小中学生とも、ほぼ同様の傾向となっています。

Ⅲ クラスや学校の規模について（問7～問10）

問7 一学年あたりの学級数はどの程度がよいと考えますか？

問8 その回答理由は？

回答選択肢	小学生	中学生
①多い方がいい(5学級以上)	6.1%	11.9%
②極端に多くなければいい(3~4学級)	28.1%	62.4%
③クラス替えができればいい(2学級)	44.5%	15.8%
④1学級がいい	18.2%	9.2%
⑤複式学級でもいい	2.8%	0.7%
⑥無回答	0.3%	0.0%
計	100.0%	100.0%

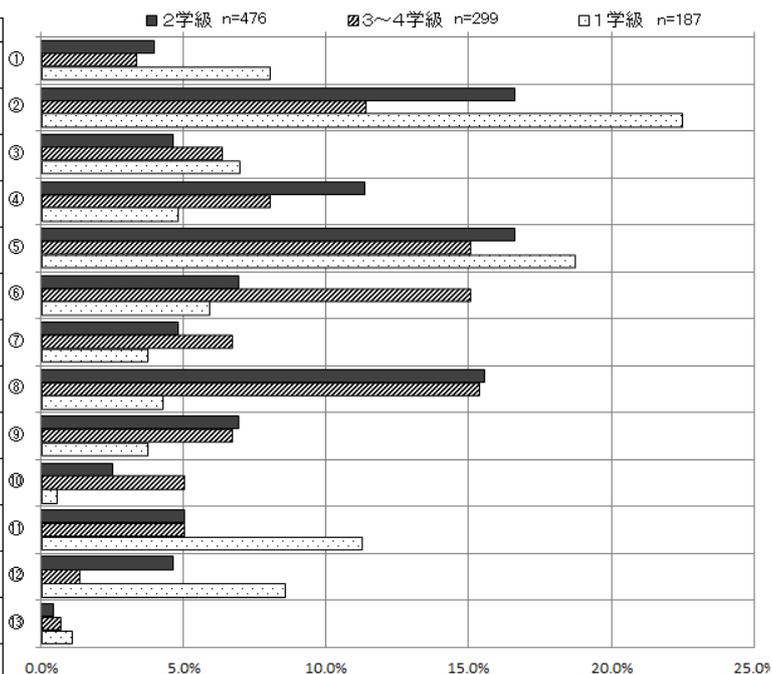


□小学5年生 「クラス替えができればいい(2学級)」が最も多く44.5%、次に「極端に多くなければいい(3~4学級)」が28.1%、「1学級がいい」が18.2%と続く。

□中学2年生 「極端に多くなければいい(3~4学級)」が最も多く62.4%、次に「クラス替えができればいい(2学級)」が15.8%、「多い方がいい(5学級以上)」が11.9%と続く。

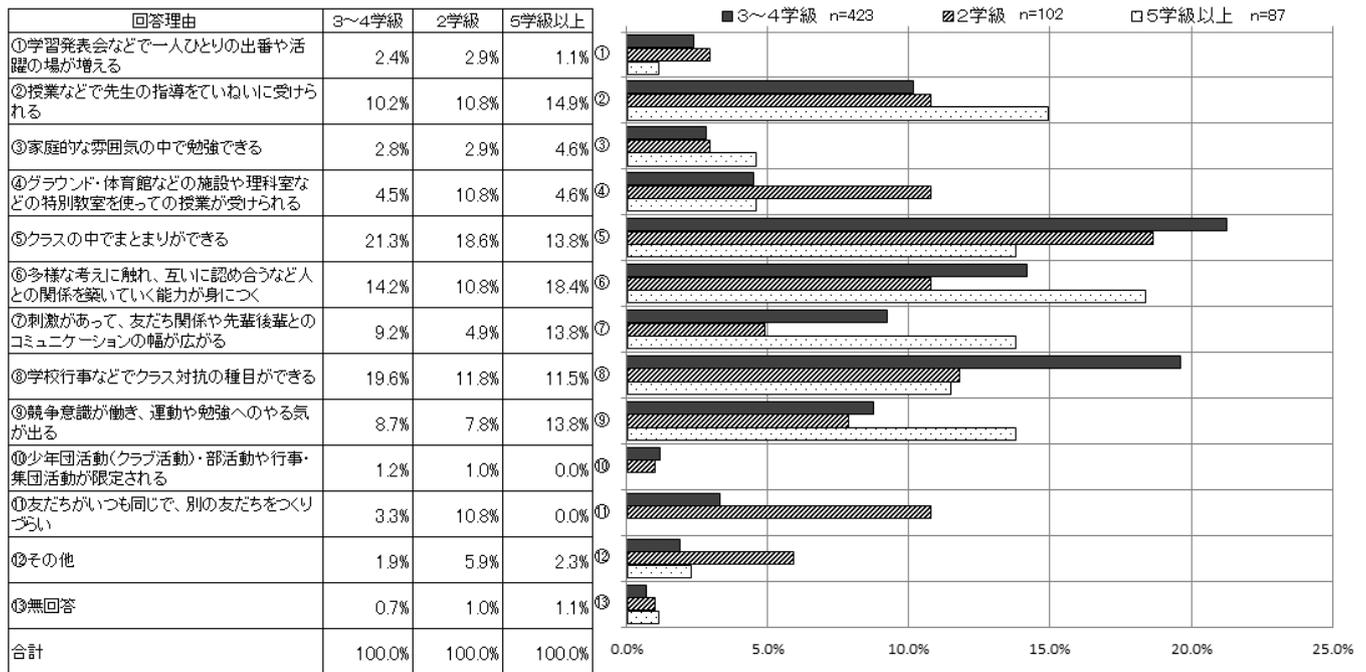
<小学5年生：どの程度の学級数がよいかの回答理由>

回答理由	2学級	3~4学級	1学級
①学習発表会などで一人ひとりの出番や活躍の場が増える	4.0%	3.3%	8.0%
②授業などで先生の指導をていねいに受けられる	16.6%	11.4%	22.5%
③家庭的な雰囲気の中で勉強できる	4.6%	6.4%	7.0%
④グラウンド・体育館などの施設や理科室などの特別教室を使っている授業を受けられる	11.3%	8.0%	4.8%
⑤クラスの中でまとまりができる	16.6%	15.1%	18.7%
⑥多様な考えに触れ、互いに認め合うなど人との関係を築いていく能力が身につく	6.9%	15.1%	5.9%
⑦刺激があって、友だち関係や先輩後輩とのコミュニケーションの幅が広がる	4.8%	6.7%	3.7%
⑧学校行事などでクラス対抗の種目ができる	15.5%	15.4%	4.3%
⑨競争意識が働き、運動や勉強へのやる気が出る	6.9%	6.7%	3.7%
⑩少年団活動(クラブ活動)・部活動や行事・集団活動が限定される	2.5%	5.0%	0.5%
⑪友だちがいつも同じで、別の友だちをつくりづらい	5.0%	5.0%	11.2%
⑫その他	4.6%	1.3%	8.6%
⑬無回答	0.4%	0.7%	1.1%
合計	100.0%	100.0%	100.0%



2学級	「授業などで先生の指導をていねいに受けられる」と「クラスの中でまとまりができる」が最も多く16.6%、次に「学校行事などでクラス対抗の種目ができる」が15.5%と続く。
3~4学級	「学校行事などでクラス対抗の種目ができる」が最も多く15.4%、次に「クラスの中でまとまりができる」と「多様な考えに触れ、互いに認め合うなど人との関係を築いていく能力が身につく」が15.1%と続く。
1学級	「授業などで先生の指導をていねいに受けられる」が最も多く22.5%、次に「クラスの中でまとまりができる」が18.7%と続く。

< 中学 2 年生：どの程度の学級数がよいかの回答理由 >



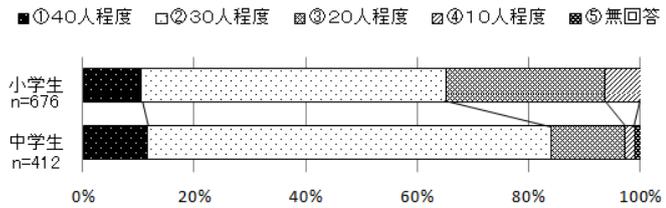
3~4学級	「クラスの中でまとまりができる」が最も多く 21.3%、次に「学校行事などでクラス対抗の種目ができる」が 19.6%、「多様な考えに触れ、互いに認め合うなど人との関係を築いていく能力が身につく」が 14.2%と続く。
2学級	「クラスの中でまとまりができる」が最も多く 18.6%、次に「学校行事などでクラス対抗の種目ができる」が 11.8%、「授業などで先生の指導をていねいに受けられる」、「友だちがいつも同じで、別の友だちをつくりづらい」等が 10.8%と続く。
5学級以上	「多様な考えに触れ、互いに認め合うなど人との関係を築いていく能力が身につく」が最も多く 18.4%、次に「授業などで先生の指導をていねいに受けられる」が 14.9%と続く。

※複数学級（2学級）以上がよいと考えている人が、小学生では約 8 割、中学生では約 9 割となっており、特に中学生では、3~4学級がよいと考えている人が約 6 割を占めています。また、複数学級以上と回答した児童生徒は、「クラスの中でまとまりができる」や「学校行事などでクラス対抗の種目ができる」などの回答が多くなっています。中学生で、2学級を回答した中で、「友だちがいつも同じで、別の友だちをつくりづらい」が多い回答割合となっています。

問9 小中学校の一学級あたりの児童生徒数はどの程度がよいと考えますか？

問10 その回答理由は？

回答選択肢	小学生	中学生
①40人程度	10.5%	11.7%
②30人程度	54.6%	72.3%
③20人程度	28.6%	13.3%
④10人程度	6.2%	1.7%
⑤無回答	0.1%	1.0%
計	100.0%	100.0%

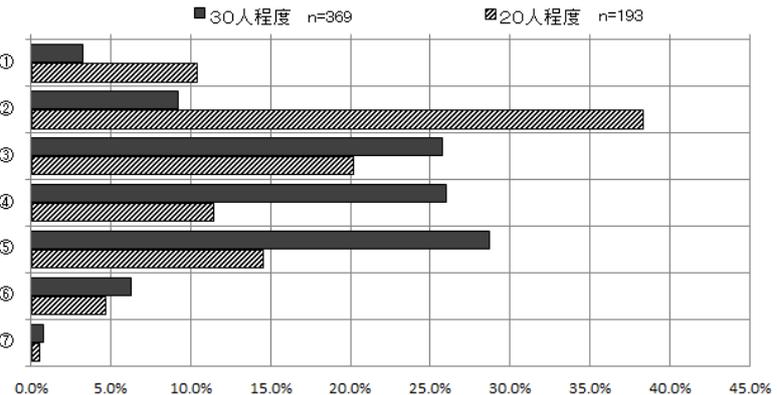


□小学5年生 「30人程度」が最も多く54.6%、次に「20人程度」が28.6%と続く。

□中学2年生 「30人程度」が最も多く72.3%、次に「20人程度」が13.3%と続く。

<小学5年生：一学級あたりの人数の回答理由>

回答理由	30人程度	20人程度
①学習発表会・文化祭などで一人ひとりの出番や活躍の場が増える	3.3%	10.4%
②授業などで先生の指導をていねいに受けられる	9.2%	38.3%
③クラスの中でまとまりができる	25.7%	20.2%
④グループでの話し合いや、分担協力して行う学習活動などで自分をきたえられる	26.0%	11.4%
⑤仲間とのふれあいや刺激がもっと増える	28.7%	14.5%
⑥その他	6.2%	4.7%
⑦無回答	0.8%	0.5%
合計	100.0%	100.0%



30人程度

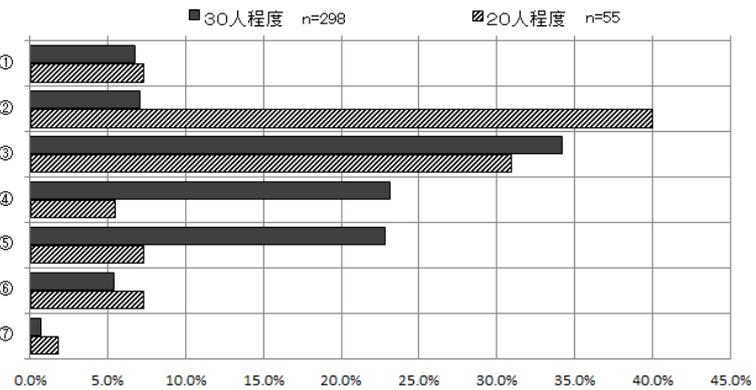
「仲間とのふれあいや刺激がもっと増える」が最も多く28.7%、次に「グループでの話し合いや、分担協力して行う学習活動などで自分をきたえられる」26.0%、「クラスの中でまとまりができる」が25.7%と続く。

20人程度

「授業などで先生の指導をていねいに受けられる」が最も多く38.3%、次に「クラスの中でまとまりができる」が20.2%、「仲間とのふれあいや刺激がもっと増える」14.5%と続く。

<中学2年生：一学級あたりの人数の回答理由>

回答理由	30人程度	20人程度
①学習発表会・文化祭などで一人ひとりの出番や活躍の場が増える	6.7%	7.3%
②授業などで先生の指導をていねいに受けられる	7.0%	40.0%
③クラスの中でまとまりができる	34.2%	30.9%
④グループでの話し合いや、分担協力して行う学習活動などで自分をきたえられる	23.2%	5.5%
⑤仲間とのふれあいや刺激がもっと増える	22.8%	7.3%
⑥その他	5.4%	7.3%
⑦無回答	0.7%	1.8%
合計	100.0%	100.0%



30人程度

「クラスの中でまとまりができる」が最も多く34.2%、次に「グループでの話し合いや、分担協力して行う学習活動などで自分をきたえられる」23.2%、「仲間とのふれあいや刺激がもっと増える」が22.8%と続く。

20人程度

「授業などで先生の指導をていねいに受けられる」が最も多く40.0%、次に「クラスの中でまとまりができる」が30.9%と続く。

※小中学生とも一学級あたりの人数は、同様の傾向であるが、中学生では、「30人程度」の割合が増加しています。理由については、小中学生ともほぼ同様の傾向となっています。

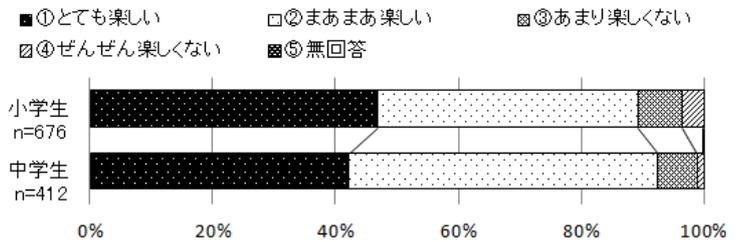
#### IV 学校での生活について（問 11～問 16）

問 11 あなたは、学校が楽しい？

問 12 楽しい理由は？

問 13 楽しくない理由は？

回答選択肢	小学生	中学生
①とても楽しい	46.7%	42.0%
②まあまあ楽しい	42.5%	50.5%
③あまり楽しくない	7.2%	6.3%
④ぜんぜん楽しくない	3.3%	1.0%
⑤無回答	0.3%	0.2%
計	100.0%	100.0%



□小学5年生 「とても楽しい」が 46.7%と最も多く、次に「まあまあ楽しい」が 42.5%と続く。

＜楽しい理由＞ 「友だちと一緒に遊ぶのが楽しいから」が最も多く 43.0%、次に「学校行事が楽しいから」が 14.3%、「少年団活動(クラブ活動)が楽しいから」が 13.2%と続く。

＜楽しくない理由＞「何となくそう思うから」が最も多く 19.4%、次に「友だちと上手く遊べないから」が 14.6%、「勉強がよくわからないから」が 12.6%と続く。

□中学2年生 「まあまあ楽しい」が 50.5%と最も多く、「とても楽しい」が 42.0%と続く。

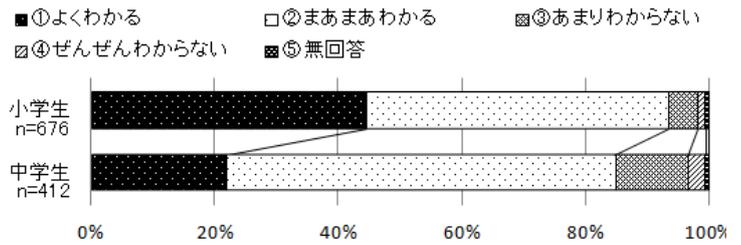
＜楽しい理由＞ 「友だちと一緒に遊ぶのが楽しいから」が最も多く 40.9%、次に「部活動が楽しいから」が 28.0%、「学校行事が楽しいから」が 9.3%と続く。

＜楽しくない理由＞ 「何となくそう思うから」が最も多く 30.4%、「部活動が楽しくないから」が 17.4%と続く。

※小中学生とも、約 9 割が学校へ行くことを楽しいと感じていますが、一方で、約 1 割が楽しいと感じていません。楽しい理由としては、「友だちと一緒に遊ぶのが楽しいから」を挙げています。楽しくない理由としては、「何となくそう思うから」、「勉強がよくわからないから」、「部活動が楽しくないから」といった理由を挙げています。

### 問 14 学校の勉強はわかりますか？

回答選択肢	小学生	中学生
①よくわかる	44.5%	21.8%
②まあまあわかる	49.0%	63.1%
③あまりわからない	4.7%	11.7%
④ぜんぜんわからない	1.2%	2.7%
⑤無回答	0.6%	0.7%
計	100.0%	100.0%



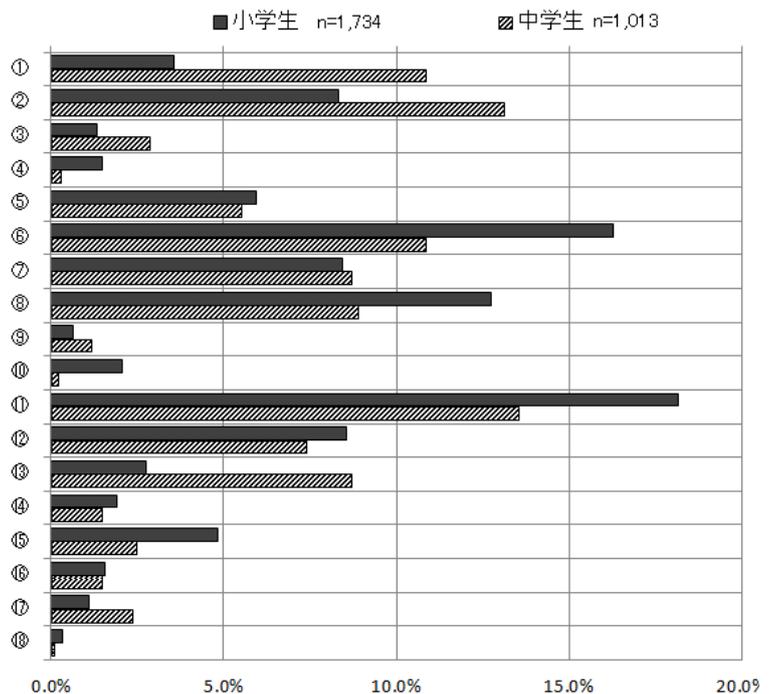
□小学5年生 「まあまあわかる」が最も多く49.0%、次に「よくわかる」が44.5%、「あまりわからない」が4.7%と続く。

□中学2年生 「まあまあわかる」が最も多く63.1%、次に「よくわかる」が21.8%、「あまりわからない」が11.7%と続く。

※学校の勉強が「あまりわからない」「ぜんぜんわからない」を合わせると、小学生は5.9%に対し、中学生では14.4%と大きく増加しています。

### 問 15 あなたが学校の授業に望むことは？

回答選択肢	小学生	中学生
①先生にもっとわかりやすく勉強を教えてください	3.6%	10.9%
②自分の力に合った早さで授業を受けたい	8.3%	13.1%
③放課後や休日などにも勉強を教えてください	1.3%	2.9%
④先生だけでなく、地域のいろいろな人に勉強を教えてください	1.5%	0.3%
⑤もっと英語などの外国語を勉強したい	5.9%	5.5%
⑥もっとコンピュータを使った勉強をしたい	16.3%	10.9%
⑦朝の読書など、本をたくさん読む時間がほしい	8.4%	8.7%
⑧いろいろな理科の実験をやってみたい	12.7%	8.9%
⑨道徳の勉強をもっとやりたい	0.6%	1.2%
⑩健康についての勉強をしたい	2.1%	0.2%
⑪体育でもっといろいろな運動をしてみたい	18.2%	13.5%
⑫商店や幼稚園・保育所(園)などで、仕事の経験をしたい	8.5%	7.4%
⑬高校や大学などのことをもっと知りたい	2.8%	8.7%
⑭地域清掃などいろいろなボランティア活動をしたい	1.9%	1.5%
⑮地域の自然・歴史・生活・文化をもっと勉強したい	4.8%	2.5%
⑯その他	1.6%	1.5%
⑰特がない	1.1%	2.4%
⑱無回答	0.3%	0.1%
計	100.0%	100.0%



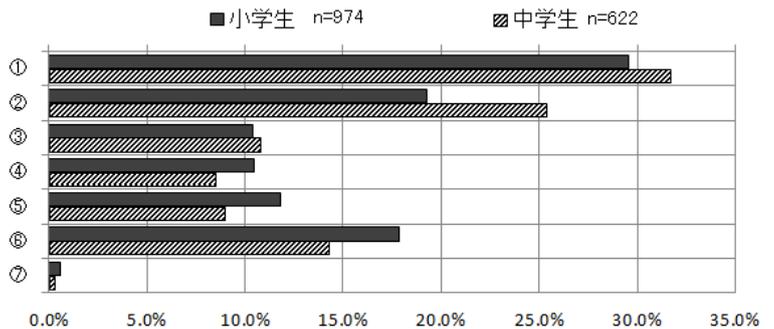
□小学5年生 「体育でもっといろいろな運動をしてみたい」が最も多く18.2%、次に「もっとコンピュータを使った勉強をしたい」が16.3%、「いろいろな理科の実験をやってみたい」が12.7%と続く。

□中学2年生 「体育でもっといろいろな運動をしてみたい」が最も多く13.5%、次に「自分の力に合った早さで授業を受けたい」が13.1%、「先生にもっとわかりやすく勉強を教えてください」と「もっとコンピュータを使った勉強をしたい」が10.9%と続く。

※中学生では、「自分の力に合った早さで授業を受けたい」、「先生にもっとわかりやすく勉強を教えてください」の回答が増加しています。

### 問 16 学校の校舎や体育館などで直してほしいところは？

回答選択肢	小学生	中学生
①きれいなトイレや洋式トイレにしてほしい	29.6%	31.7%
②冬にもっと暖かくなるように、暖房の機械を直してほしい	19.3%	25.4%
③学校の屋根や壁をきれいにしてほしい	10.4%	10.8%
④グラウンドや校庭をもっときれいにしてほしい	10.5%	8.5%
⑤その他	11.8%	9.0%
⑥特にない	17.9%	14.3%
⑦無回答	0.6%	0.3%
計	100.0%	100.0%



□小学5年生 「きれいなトイレや洋式トイレにしてほしい」が最も多く 29.6%、次に「冬にもっと暖かくなるように、暖房の機械を直してほしい」が 19.3%「特にない」が 17.9%と続く。

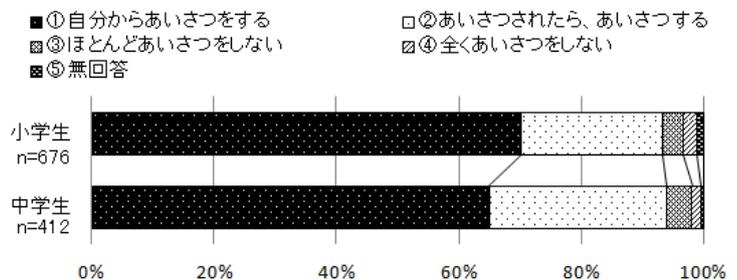
□中学2年生 「きれいなトイレや洋式トイレにしてほしい」が最も多く 31.7%、次に「冬にもっと暖かくなるように、暖房の機械を直してほしい」が 25.4%、「特にない」が 14.3%と続く。

※小中学生とも、同様の傾向となっています。

## V 地域とのかかわりについて (問 17~問 19)

### 問 17 近所の人に道で会ったとき、あいさつをしますか？

回答選択肢	小学生	中学生
①自分からあいさつをする	70.1%	65.0%
②あいさつされたら、あいさつする	23.2%	28.9%
③ほとんどあいさつをしない	3.4%	4.1%
④全くあいさつをしない	2.1%	1.5%
⑤無回答	1.2%	0.5%
計	100.0%	100.0%



□小学5年生 「自分からあいさつをする」が最も多く 70.1%、次に「あいさつされたら、あいさつする」が 23.2%、「ほとんどあいさつをしない」が 3.4%と続く。

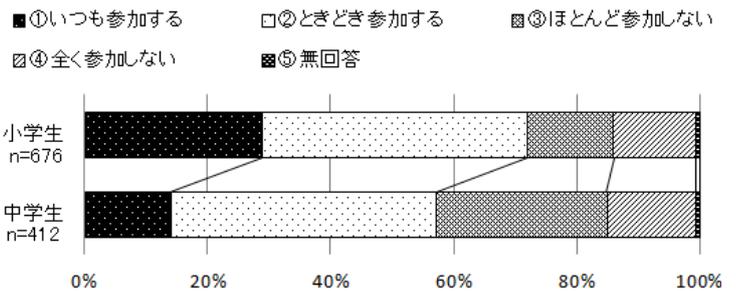
□中学2年生 「自分からあいさつをする」が最も多く 65.0%、次に「あいさつされたら、あいさつする」が 28.9%、「ほとんどあいさつをしない」が 4.1%と続く。

※小中学生の9割以上があいさつをしています。

問 18 地域の活動や行事に参加したことがありますか？

問 19 問 18 で「ほとんど参加しない」、または「全く参加しない」理由は？

回答選択肢	小学生	中学生
①いつも参加する	28.8%	14.1%
②ときどき参加する	43.0%	43.0%
③ほとんど参加しない	14.1%	27.9%
④全く参加しない	13.3%	14.3%
⑤無回答	0.7%	0.7%
計	100.0%	100.0%



□小学5年生 「ときどき参加する」が最も多く 43.0%、次に「いつも参加する」が 28.8%、「ほとんど参加しない」が 14.1%と続き、その理由としては、「参加する機会がないから」が最も多く 30.3%、次に「少年団活動（クラブ活動）、習い事、塾などで時間がないから」が 24.9%、「興味がないから」が 24.3%と続く。

□中学2年生 「ときどき参加する」が最も多く 43.0%、次に「ほとんど参加しない」が 27.9%、「全く参加しない」が 14.3%と続き、その理由としては、「興味がないから」が最も多く 31.0%、次に「参加する機会がないから」が 28.7%、が「部活動、習い事、塾などで時間がないから」23.0%と続く。

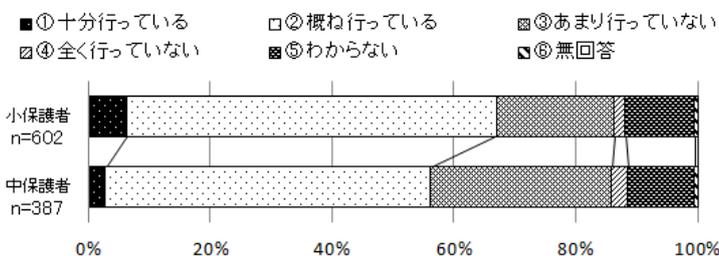
※小学生では、約 7 割が参加していますが、中学生では、若干減少しています。参加しない（参加できない）理由としては、小学生では「参加する機会がないから」、中学生では「興味がないから」が、最も多くなっています。

## (2) 保護者の結果概要

### I 学校教育、学校に感じていることについて（問1～問7）

#### 問1 学校は、子どもの個性や能力に応じた教育を行っているか？

回答選択肢	小保護者	中保護者
①十分行っている	6.3%	2.8%
②概ね行っている	60.8%	53.2%
③あまり行っていない	19.3%	29.7%
④全く行っていない	1.7%	2.8%
⑤わからない	11.5%	10.9%
⑥無回答	0.5%	0.5%
計	100.0%	100.0%



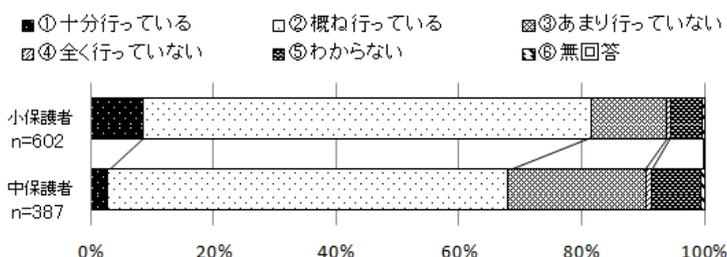
□小学5年生保護者 「概ね行っている」が最も多く 60.8%、次に「あまり行っていない」が 19.3%、「わからない」が 11.5%と続く。

□中学2年生保護者 「概ね行っている」が最も多く 53.2%、次に「あまり行っていない」が 29.7%、「わからない」が 10.9%と続く。

※小中学生保護者とも、5割以上が肯定的な意見となっていますが、否定的な意見は中学生保護者で3割を超えています。

#### 問2 学校は、確かな学力を身につける教育を行っているか？

回答選択肢	小保護者	中保護者
①十分行っている	8.6%	2.8%
②概ね行っている	72.9%	65.1%
③あまり行っていない	12.3%	22.5%
④全く行っていない	0.7%	1.0%
⑤わからない	5.1%	8.0%
⑥無回答	0.3%	0.5%
計	100.0%	100.0%



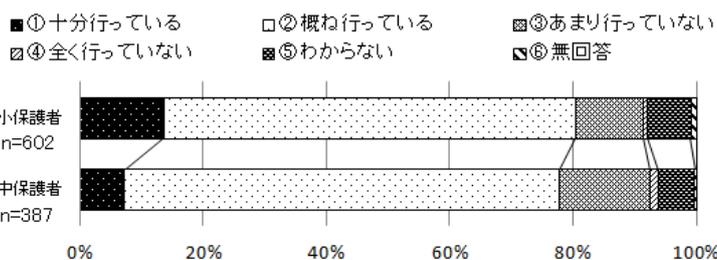
□小学5年生保護者 「概ね行っている」が最も多く 72.9%、次に「あまり行っていない」が 12.3%、「十分行っている」が 8.6%と続く。

□中学2年生保護者 「概ね行っている」が最も多く 65.1%、次に「あまり行っていない」が 22.5%、「わからない」が 8.0%と続く。

※小中学生保護者とも、6割以上が肯定的な意見となっていますが、否定的な意見は中学生保護者で2割を超えています。

### 問3 学校は、思いやりや豊かな心、規範意識を育てる教育を行っているか？

回答選択肢	小保護者	中保護者
①十分行っている	13.6%	7.2%
②概ね行っている	66.8%	70.5%
③あまり行っていない	11.1%	14.7%
④全く行っていない	0.5%	1.3%
⑤わからない	7.1%	5.9%
⑥無回答	0.8%	0.3%
計	100.0%	100.0%



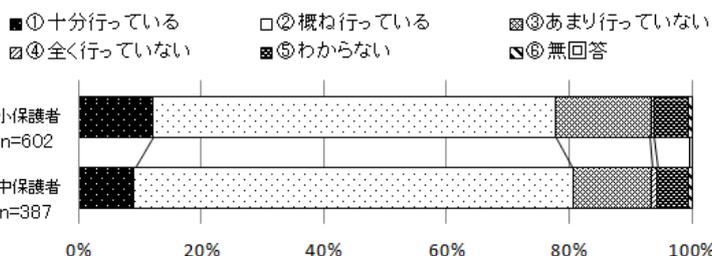
□小学5年生保護者 「概ね行っている」が最も多く66.8%、次に「十分行っている」が13.6%、「あまり行っていない」が11.1%と続く。

□中学2年生保護者 「概ね行っている」が最も多く70.5%、次に「あまり行っていない」が14.7%、「十分行っている」が7.2%と続く。

※小中学生保護者とも、約8割が肯定的な意見となっています。

### 問4 学校は、健康や体力を身につける教育を行っているか？

回答選択肢	小保護者	中保護者
①十分行っている	12.1%	9.0%
②概ね行っている	65.6%	71.6%
③あまり行っていない	15.6%	12.9%
④全く行っていない	0.5%	0.8%
⑤わからない	5.6%	5.2%
⑥無回答	0.5%	0.5%
計	100.0%	100.0%



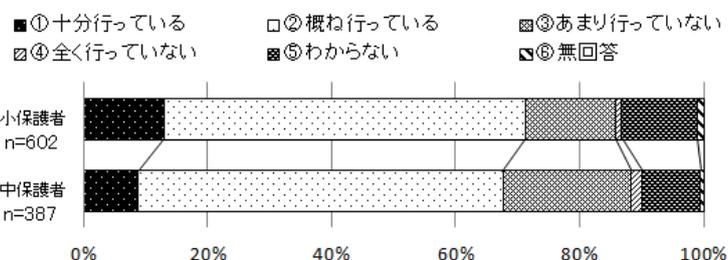
□小学5年生保護者 「概ね行っている」が最も多く65.6%、次に「あまり行っていない」が15.6%、「十分行っている」が12.1%と続く。

□中学2年生保護者 「概ね行っている」が最も多く71.6%、次に「あまり行っていない」が12.9%、「十分行っている」が9.0%と続く。

※小中学生保護者とも、約8割が肯定的な意見となっています。

### 問5 学校は、これまでよりも家庭や地域と連携しながら教育を行っているか？

回答選択肢	小保護者	中保護者
①十分行っている	13.0%	8.8%
②概ね行っている	58.3%	58.9%
③あまり行っていない	14.6%	20.7%
④全く行っていない	0.8%	1.8%
⑤わからない	12.3%	9.3%
⑥無回答	1.0%	0.5%
計	100.0%	100.0%



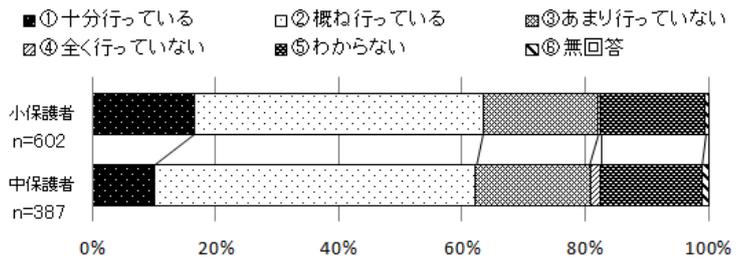
□小学5年生保護者 「概ね行っている」が最も多く58.3%、次に「あまり行っていない」が14.6%、「十分行っている」が13.0%と続く。

□中学2年生保護者 「概ね行っている」が最も多く58.9%、次に「あまり行っていない」が20.7%、「わからない」が9.3%、「十分行っている」が8.8%と続く。

※小中学生保護者とも、約7割が肯定的な意見となっています。

### 問6 各小中学校は、「特色ある学校づくり」を行っているか？

回答選択肢	小保護者	中保護者
①十分行っている	16.6%	10.1%
②概ね行っている	46.8%	52.2%
③あまり行っていない	18.6%	18.6%
④全く行っていない	0.5%	1.6%
⑤わからない	16.9%	16.5%
⑥無回答	0.5%	1.0%
計	100.0%	100.0%



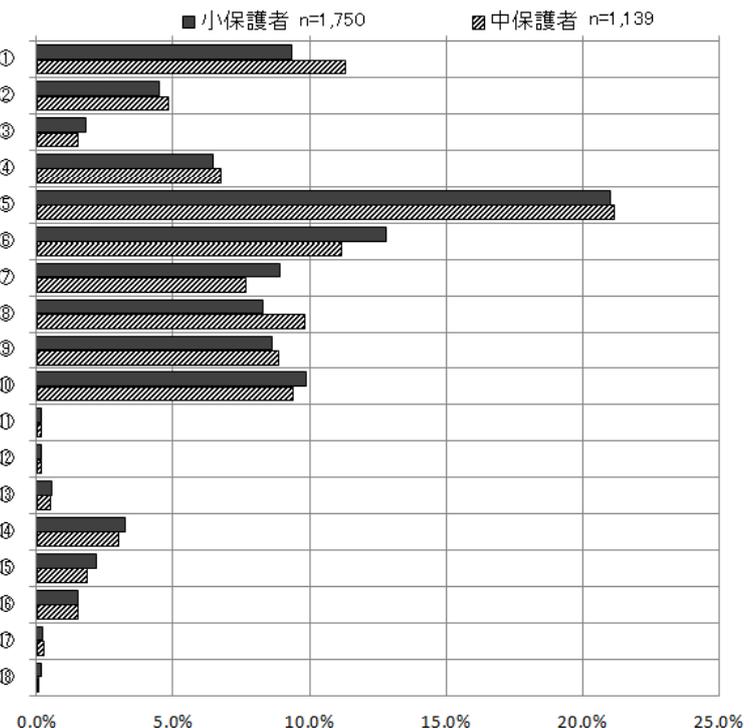
□小学5年生保護者 「概ね行っている」が最も多く46.8%、次に「あまり行っていない」が18.6%、「わからない」が16.9%、「十分行っている」が16.6%と続く。

□中学2年生保護者 「概ね行っている」が最も多く52.2%、次に「あまり行っていない」が18.6%、「わからない」が16.5%、「十分行っている」が10.1%と続く。

※小中学生保護者とも、6割以上が肯定的な意見となっています。

### 問7 今の小中学生に特に身につけてほしいことは？

回答選択肢	小保護者	中保護者
①社会生活を営むうえでの必要な基礎的な知識や技能	9.4%	11.3%
②身につけた知識や技能を社会生活に活かす力	4.5%	4.8%
③高い学力	1.8%	1.5%
④社会変化に伴い必要とされる力(豊富な知識、情報技術、語学力など)	6.5%	6.8%
⑤よりよい人間関係を築くコミュニケーションなどの力	21.0%	21.2%
⑥善悪を正しく判断できる力	12.8%	11.2%
⑦ものごとを整理して考え、解決できる力	8.9%	7.6%
⑧目標に向かって努力する姿勢	8.3%	9.8%
⑨自分でやったことに責任をもつ姿勢	8.6%	8.9%
⑩社会や集団のルールを守る姿勢	9.9%	9.4%
⑪伝統や文化を重んじる姿勢	0.2%	0.2%
⑫芸術文化に親しむ心	0.2%	0.2%
⑬ボランティアの心	0.6%	0.5%
⑭生命尊重・自然愛護の心	3.3%	3.0%
⑮健康な体をつくる姿勢や体力の向上	2.2%	1.8%
⑯早寝早起きや身の回りの整理整頓などの基本的な生活習慣	1.5%	1.5%
⑰その他	0.2%	0.3%
⑱無回答	0.2%	0.1%
計	100.0%	100.0%



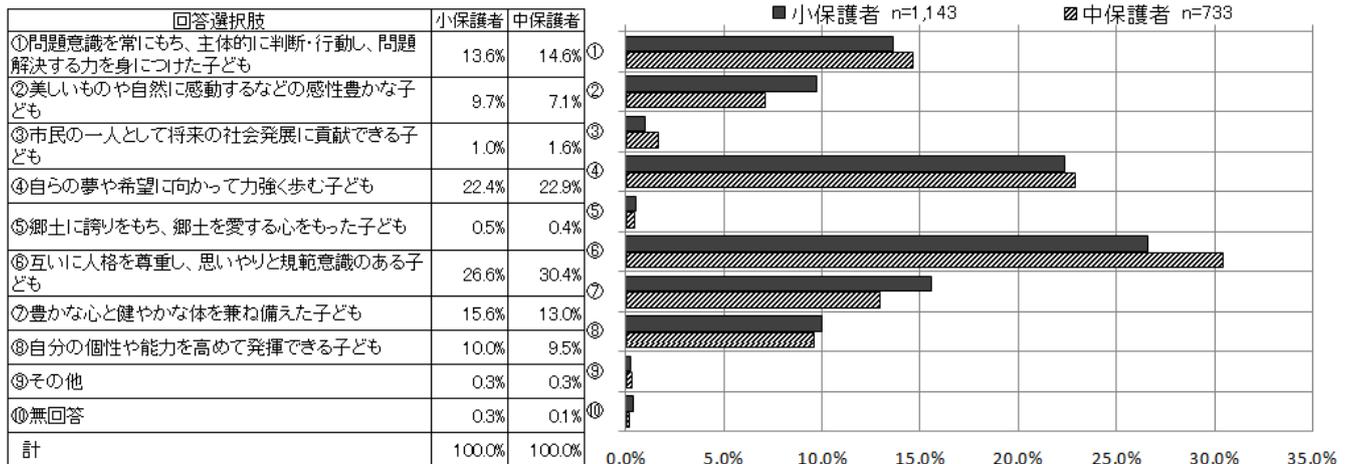
□小学5年生保護者 「よりよい人間関係を築くコミュニケーションなどの力」が最も多く21.0%、次に「善悪を正しく判断できる力」が12.8%、「社会や集団のルールを守る姿勢」が9.9%と続く。

□中学2年生保護者 「よりよい人間関係を築くコミュニケーションなどの力」が最も多く21.2%、次に「社会生活を営むうえでの必要な基礎的な知識や技能」が11.3%、「善悪を正しく判断できる力」が11.2%と続く。

※小中学生保護者ともほぼ同様の傾向がみられます。

目ざすべき子ども像や、学校の規模、学校や先生について（問8～19）

問8 あなたが考える「目ざすべき子ども像」は？



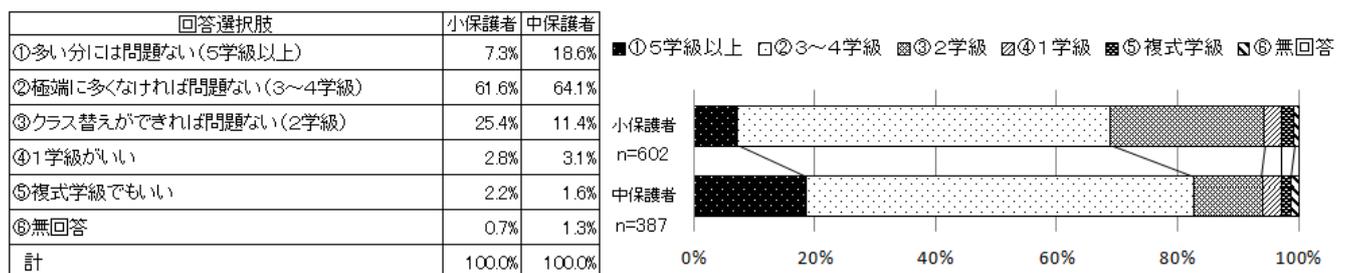
□小学5年生保護者 「互いに人格を尊重し、思いやりと規範意識のある子ども」が26.6%と最も多く、次に「自らの夢や希望に向かって力強く歩む子ども」が22.4%、「豊かな心と健やかな体を兼ね備えた子ども」が15.6%と続く。

□中学2年生保護者 「互いに人格を尊重し、思いやりと規範意識のある子ども」が30.4%と最も多く、次に「自らの夢や希望に向かって力強く歩む子ども」が22.9%、「問題意識を常にもち、主体的に判断・行動し、問題解決する力を身につけた子ども」が14.6%と続く。

※小中学生保護者とも「互いに人格を尊重し、思いやりと規範意識のある子ども」の回答が最も多く、ほぼ同様の傾向がみられます。

問9 一学年あたりの学級数はどの程度の範囲が適当か？

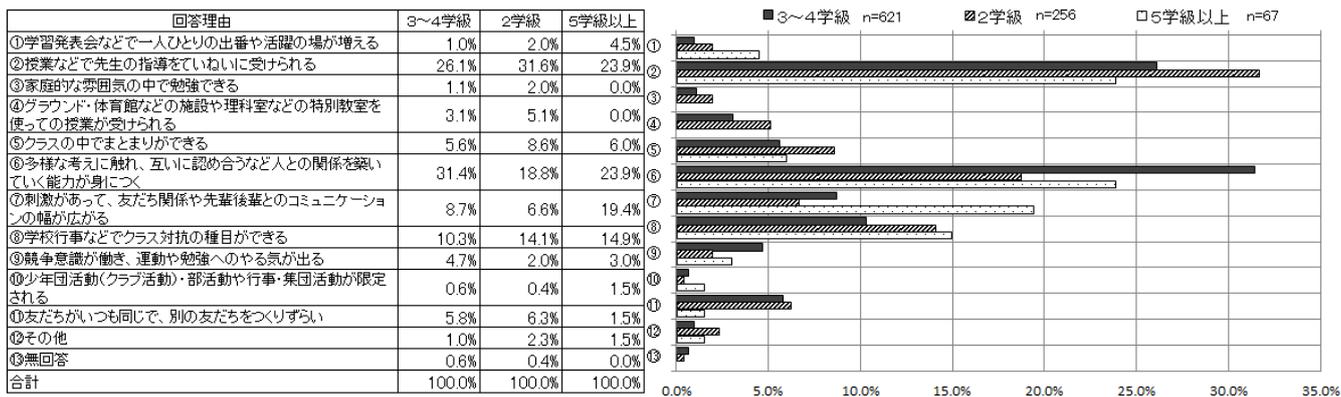
問10 その回答理由は？



□小学5年生保護者 「極端に多くなければ問題ない(3~4学級)」が最も多く61.6%、次に「クラス替えができれば問題ない(2学級)」が25.4%、「多い分には問題ない(5学級以上)」が7.3%と続く。

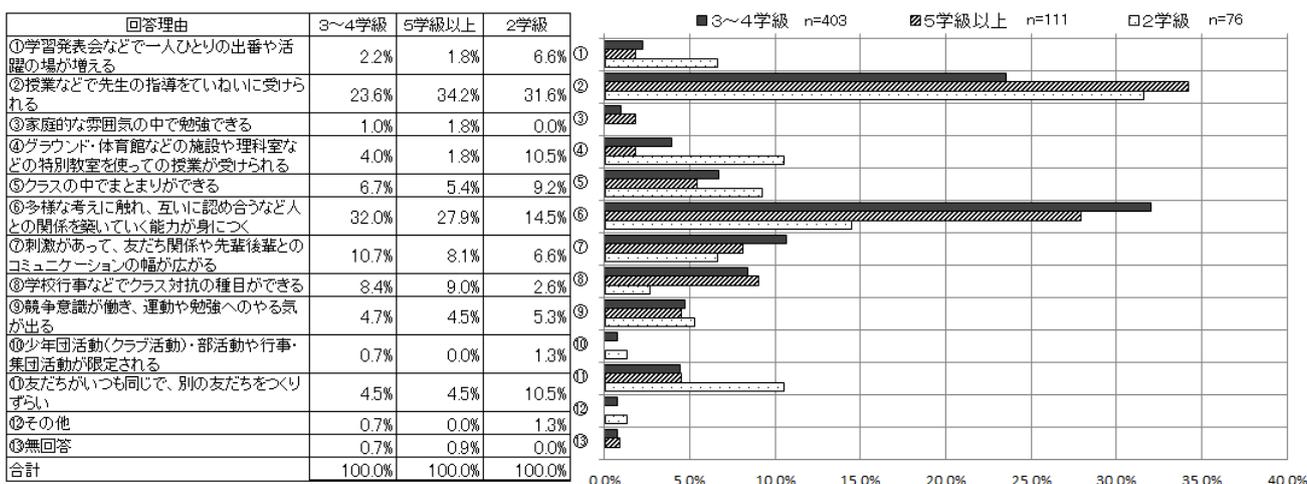
□中学2年生保護者 「極端に多くなければ問題ない(3~4学級)」が最も多く64.1%、次に「多い分には問題ない(5学級以上)」が18.6%、「クラス替えができれば問題ない(2学級)」が11.4%と続く。

<小学5年生保護者：どの程度の学級数がよいかの回答理由>



3~4学級	「集団の中で多様な考えに触れ、社会性や協調性が身につく」が最も多く31.4%、次に「授業などで先生の指導をていねいに受けられる」が26.1%、「学校行事などでクラス対抗の種目ができる」が10.3%と続く。
2学級	「授業などで先生の指導をていねいに受けられる」が最も多く31.6%、次に「集団の中で多様な考えに触れ、社会性や協調性が身につく」18.8%、「学校行事などでクラス対抗の種目ができる」14.1%と続く。
5学級以上	「授業などで先生の指導をていねいに受けられる」と「集団の中で多様な考えに触れ、社会性や協調性が身につく」が最も多く23.9%、次に「刺激があって、友だち関係や先輩後輩とのコミュニケーションの幅が広がる」が19.4%と続く。

<中学2年生保護者：どの程度の学級数がよいかの回答理由>



3~4学級	「集団の中で多様な考えに触れ、社会性や協調性が身につく」が最も多く32.0%、次に「授業などで先生の指導をていねいに受けられる」が23.6%、「刺激があって、友だち関係や先輩後輩とのコミュニケーションの幅が広がる」が10.7%と続く。
5学級以上	「授業などで先生の指導をていねいに受けられる」が最も多く34.2%、次に「集団の中で多様な考えに触れ、社会性や協調性が身につく」27.9%、「学校行事などでクラス対抗の種目ができる」9.0%と続く。
2学級	「授業などで先生の指導をていねいに受けられる」が最も多く31.6%、次に「集団の中で多様な考えに触れ、社会性や協調性が身につく」14.5%と続く。

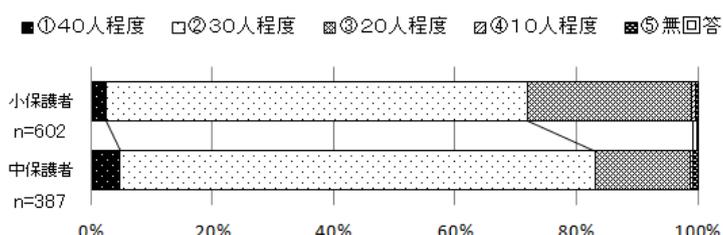
※複数学級（2学級）以上がよいと考えている人が、小中学生保護者とも9割を超えており、3~4学級がよいと考えている人が6割を超えています。

また、複数学級以上と回答した保護者は、「集団の中で多様な考えに触れ、社会性や協調性が身につく」「授業などで先生の指導をていねいに受けられる」の回答割合が多くなっています。

問 11 小中学校の一学級あたりの児童生徒数はどの程度がよいか？

問 12 その理由は？

回答選択肢	小保護者	中保護者
①40人程度	2.7%	4.9%
②30人程度	69.3%	78.3%
③20人程度	27.1%	15.5%
④10人程度	0.7%	0.5%
⑤無回答	0.3%	0.8%
計	100.0%	100.0%

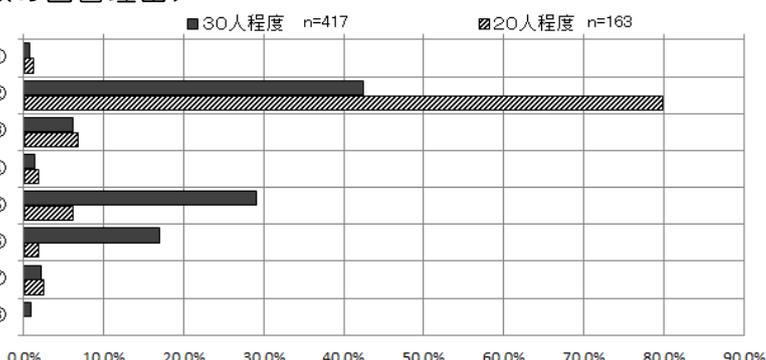


□小学5年生保護者 「30人程度」が最も多く 69.3%、次に「20人程度」が 27.1%と続く。

□中学2年生保護者 「30人程度」が最も多く 78.3%、次に「20人程度」が 15.5%と続く。

＜小学5年生保護者：一学級あたりの人数の回答理由＞

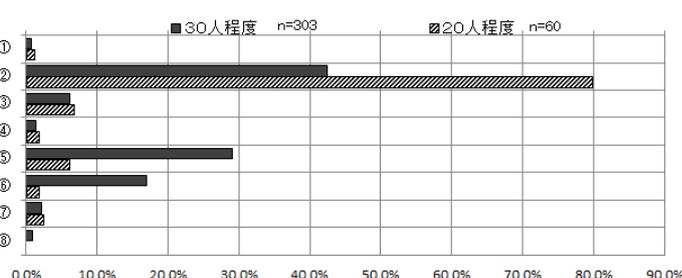
回答理由	30人程度	20人程度
①学習発表会・文化祭などで一人ひとりの出番や活躍の場が増える	0.7%	1.2%
②授業などで先生の指導をていねいに受けられる	42.4%	79.8%
③クラスの中でまとまりができる	6.2%	6.7%
④学校行事や少年団活動・部活動等において、児童生徒の一人ひとりの個別の活動を設定しやすい	1.4%	1.8%
⑤グループ学習や分担、協力して行なう活動など教育方法の幅が広がる	29.0%	6.1%
⑥子どもにとって、仲間とのふれあいや刺激が必要	17.0%	1.8%
⑦その他	2.2%	2.5%
⑧無回答	1.0%	0.0%
合計	100.0%	100.0%



30人程度	「授業などで先生の指導をていねいに受けられる」が最も多く 42.4%、次に「グループ学習や分担、協力して行なう活動など教育方法の幅が広がる」29.0%、「子どもにとって、仲間とのふれあいや刺激が必要」が 17.0%と続く。
20人程度	「授業などで先生の指導をていねいに受けられる」が最も多く 79.8%、次に「クラスの中でまとまりができる」が 6.7%と続く。

＜中学2年生保護者：一学級あたりの人数の回答理由＞

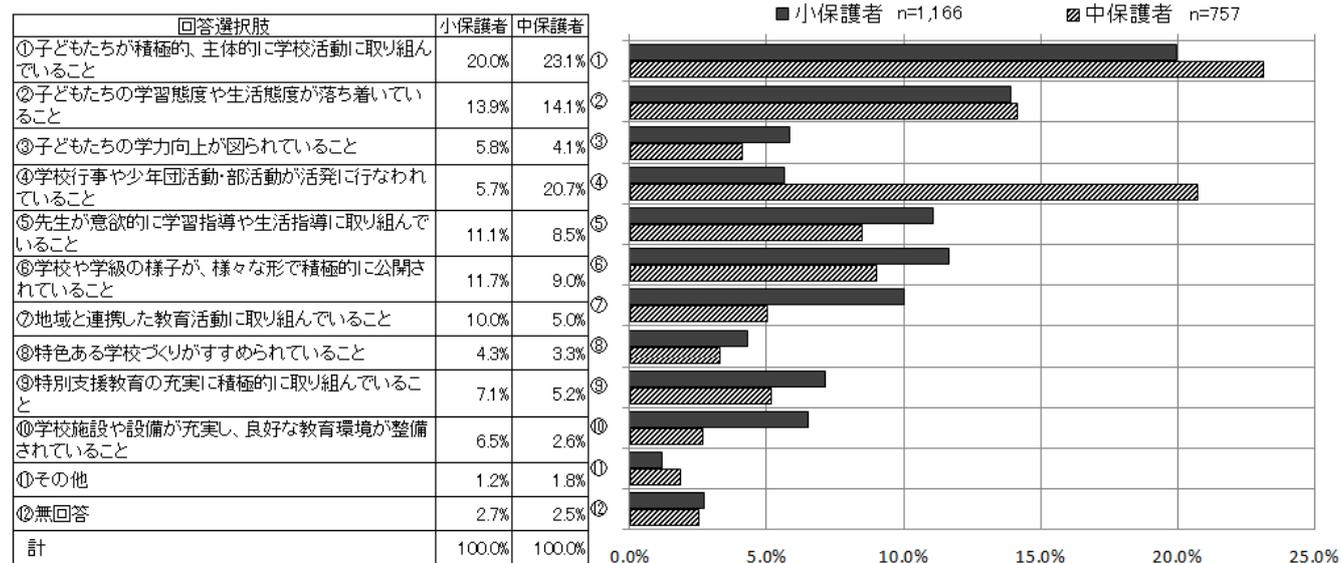
回答理由	10人程度	20人程度	30人程度	40人程度
①学習発表会・文化祭などで一人ひとりの出番や活躍の場が増える	0.0%	3.3%	1.3%	5.3%
②授業などで先生の指導をていねいに受けられる	50.0%	85.0%	40.9%	15.8%
③クラスの中でまとまりができる	0.0%	3.3%	10.9%	5.3%
④学校行事や少年団活動・部活動等において、児童生徒の一人ひとりの個別の活動を設定しやすい	0.0%	1.7%	3.6%	5.3%
⑤グループ学習や分担、協力して行なう活動など教育方法の幅が広がる	0.0%	5.0%	28.7%	36.8%
⑥子どもにとって、仲間とのふれあいや刺激が必要	0.0%	1.7%	13.2%	31.6%
⑦その他	50.0%	0.0%	0.7%	0.0%
⑧無回答	0.0%	0.0%	0.7%	0.0%
合計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%



30人程度	「授業などで先生の指導をていねいに受けられる」が最も多く 40.9%、次に「グループ学習や分担、協力して行なう活動など教育方法の幅が広がる」28.7%、「子どもにとって、仲間とのふれあいや刺激が必要」が 13.2%と続く。
20人程度	「授業などで先生の指導をていねいに受けられる」が最も多く 85.0%、次に「グループ学習や分担、協力して行なう活動など教育方法の幅が広がる」が 5.0%と続く。

※小中学生保護者とも一学級あたりの人数は、同様の傾向であるが、中学生保護者では、「30人程度」の割合が増加しています。理由については、小中学生保護者ともほぼ同様の傾向となっています。

### 問 13 学校の取組みで評価できることは？

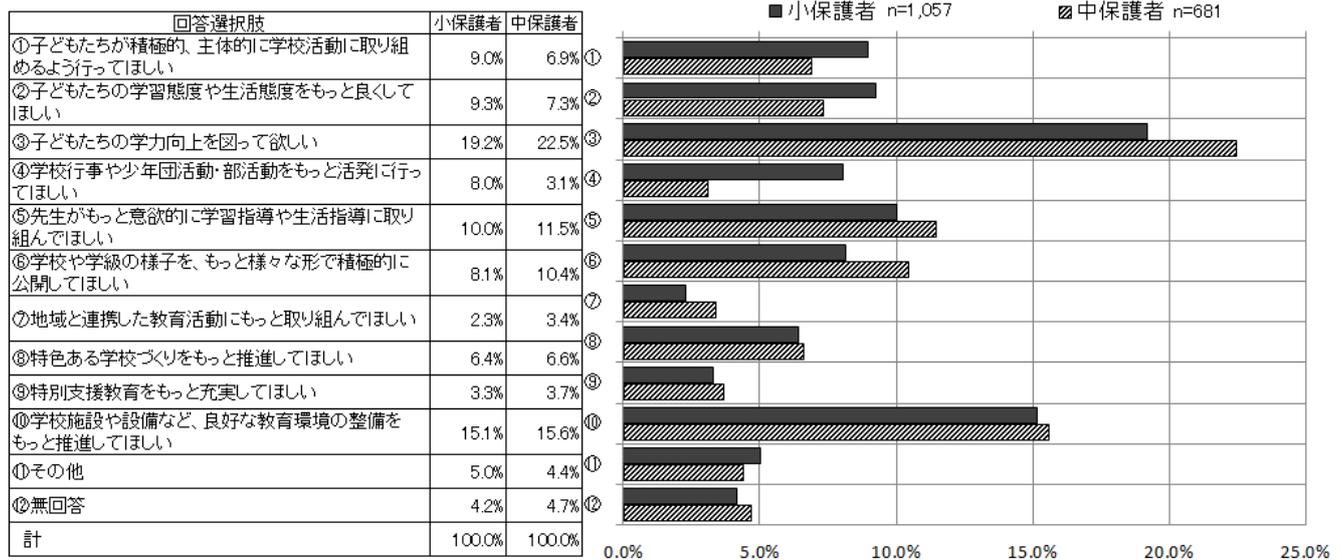


□小学5年生保護者 「子どもたちが積極的、主体的に学校活動に取り組んでいること」が最も多く 20.0%、次に「子どもたちの学習態度や生活態度が落ち着いていること」が 13.9%、「学校や学級の様子が、様々な形で積極的に公開されていること」が 11.7%と続く。

□中学2年生保護者 「子どもたちが積極的、主体的に学校活動に取り組んでいること」が最も多く 23.1%、次に「学校行事や部活動が活発に行なわれていること」が 20.7%、「子どもたちの学習態度や生活態度が落ち着いていること」が 14.1%と続く。

※小中学生保護者とも、「子どもたちが積極的、主体的に学校活動に取り組んでいること」への取組みに対する評価が最も高く、「学校行事や少年団活動・部活動が活発に行なわれていること」への評価が中学生保護者では高くなっています。

## 問 14 学校の取組みで改善してほしいことは？



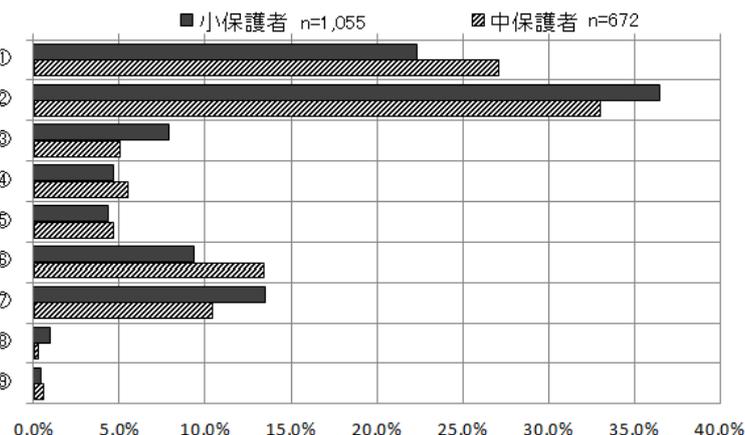
□小学5年生保護者 「子どもたちの学力向上を図って欲しい」が最も多く19.2%、次に「学校施設や設備など、良好な教育環境の整備をもっと推進してほしい」が15.1%、「先生がもっと意欲的に学習指導や生活指導に取り組んでほしい」が10.0%と続く。

□中学2年生保護者 「子どもたちの学力向上を図って欲しい」が最も多く22.5%、次に「学校施設や設備など、良好な教育環境の整備をもっと推進してほしい」が15.6%、「先生がもっと意欲的に学習指導や生活指導に取り組んでほしい」が11.5%と続く。

※小中学生保護者とも、「子どもたちの学力向上を図って欲しい」が最も多くなっており、同様の傾向となっています。

### 問 15 確かな学力を子どもたちが身につけるため必要なことは？

回答選択肢	小保護者	中保護者
①子ども一人ひとりに応じたきめ細かな指導の充実	22.4%	27.1%
②子どもの興味・関心を引くなど学ぶ意欲を高める指導の充実	36.5%	33.0%
③問題解決や探求活動に主体的に取り組む「総合的な学習の時間」の充実	7.9%	5.1%
④国際化、情報化など社会の変化に対応した教育の充実	4.6%	5.5%
⑤子ども一人ひとりの教育ニーズに合わせた「特別支援教育」の充実	4.4%	4.6%
⑥授業力や人間力などを兼ね備えた先生を養成する研修の充実	9.4%	13.4%
⑦コミュニケーション能力を育む教育の充実	13.5%	10.4%
⑧その他	0.9%	0.3%
⑨無回答	0.5%	0.6%
計	100.0%	100.0%



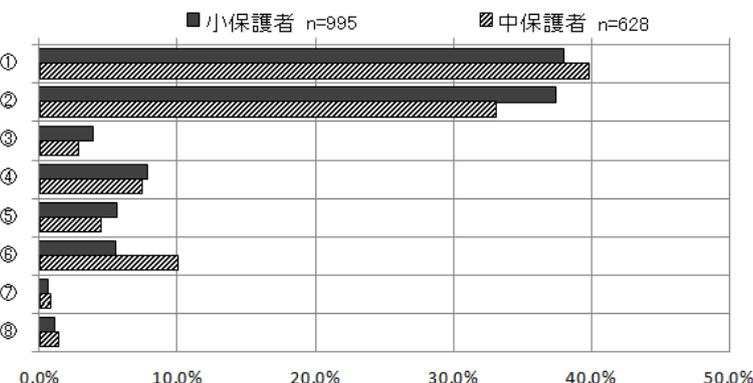
□小学5年生保護者 「子どもの興味・関心を引くなど学ぶ意欲を高める指導の充実」が最も多く 36.5%、次に「子ども一人ひとりに応じたきめ細かな指導の充実」が 22.4%と続く。

□中学2年生保護者 「子どもの興味・関心を引くなど学ぶ意欲を高める指導の充実」が最も多く 33.0%、次に「子ども一人ひとりに応じたきめ細かな指導の充実」が 27.1%と続く。

※小中学生保護者とも、「子どもの興味・関心を引くなど学ぶ意欲を高める指導の充実」が最も高くなっており、同様の傾向となっています。

### 問 16 豊かな心を育む教育をすすめるうえで、必要なことは？

回答選択肢	小保護者	中保護者
①人間尊重の心や生命への畏敬など豊かな心を育む教育の充実	38.0%	39.8%
②自然・社会体験やボランティア活動など体験活動の充実	37.4%	33.1%
③郷土に誇りをもち、郷土を愛する気持ちを育むふるさと教育の充実	3.9%	2.9%
④読書活動の充実	7.8%	7.5%
⑤文化芸術活動の充実	5.6%	4.5%
⑥生徒指導や教育相談の充実	5.5%	10.0%
⑦その他	0.6%	0.8%
⑧無回答	1.1%	1.4%
計	100.0%	100.0%



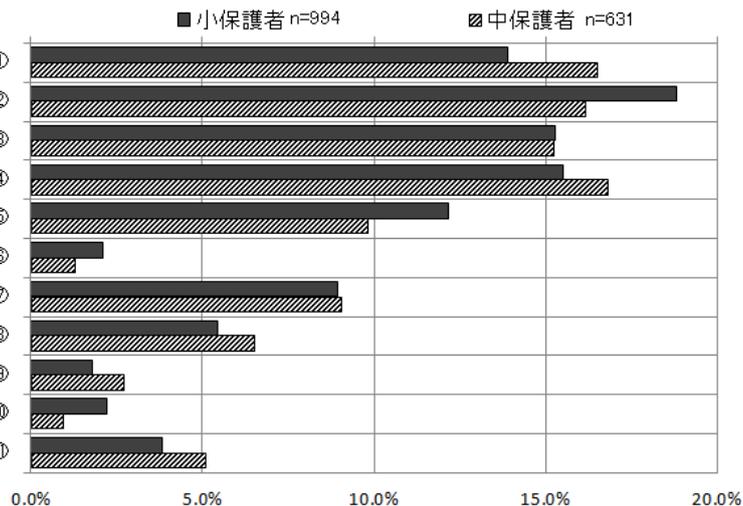
□小学5年生保護者 「人間尊重の心や生命への畏敬など豊かな心を育む教育の充実」が最も多く 38.0%、次に「自然・社会体験やボランティア活動など体験活動の充実」が 37.4%と続く。

□中学2年生保護者 「人間尊重の心や生命への畏敬など豊かな心を育む教育の充実」が最も多く 39.8%、次に「自然・社会体験やボランティア活動など体験活動の充実」が 33.1%と続く。

※「人間尊重の心や生命への畏敬など豊かな心を育む教育の充実」が最も高くなっており、小中学生保護者とも、同様の傾向となっています。

### 問 17 「開かれた学校づくり」をすすめるためには？

回答選択肢	小保護者	中保護者
①清掃活動などの地域活動に積極的に参加すること	13.9%	16.5%
②先生(学校)と保護者や地域とのコミュニケーション機会の拡大	18.8%	16.2%
③地域活動、学校外活動の指導者やボランティアの活用	15.3%	15.2%
④学校だよりや学級通信、ホームページなどで学校の様子をもっと知らせること	15.5%	16.8%
⑤保護者や地域の声をもっと聞く工夫をすること	12.2%	9.8%
⑥学校評議員制度の活用	2.1%	1.3%
⑦学校の教育活動に保護者や地域の声を直接反映させる制度づくり	9.0%	9.0%
⑧地域活動への学校施設や教育機器の開放	5.4%	6.5%
⑨PTA活動の充実	1.8%	2.7%
⑩その他	2.2%	1.0%
⑪無回答	3.8%	5.1%
計	100.0%	100.0%



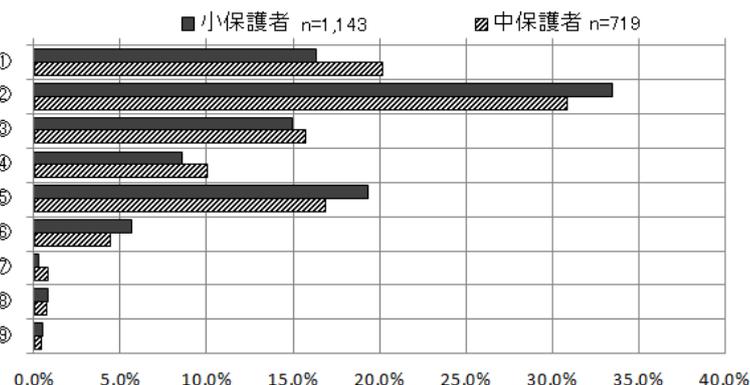
□小学5年生保護者 「先生(学校)と保護者や地域とのコミュニケーション機会の拡大」が最も多く18.8%、次に「学校だよりや学級通信、ホームページなどで学校の様子をもっと知らせること」が15.5%、「地域活動、学校外活動の指導者やボランティアの活用」が15.3%、「清掃活動などの地域活動に積極的に参加すること」が13.9%と続く。

□中学2年生保護者 「学校だよりや学級通信、ホームページなどで学校の様子をもっと知らせること」が最も多く16.8%、次に「清掃活動などの地域活動に積極的に参加すること」が16.5%、「先生(学校)と保護者や地域とのコミュニケーション機会の拡大」が16.2%、「地域活動、学校外活動の指導者やボランティアの活用」が15.2%と続く。

※小中学生保護者とも、同様の傾向となっています。

### 問 18 先生に期待することは？

回答選択肢	小保護者	中保護者
①よくわかる授業づくりをめざす先生	16.4%	20.2%
②子ども一人ひとりをよく見てくれる先生	33.5%	30.9%
③子どもたちに平等に接する先生	15.0%	15.7%
④指導力のある先生	8.6%	10.0%
⑤子どもに慕われ、温かみのある先生	19.3%	16.8%
⑥保護者からの相談に親身に対応してくれる先生	5.7%	4.5%
⑦地域とのかかわりを大切にする先生	0.3%	0.8%
⑧その他	0.8%	0.7%
⑨無回答	0.5%	0.4%
計	100.0%	100.0%

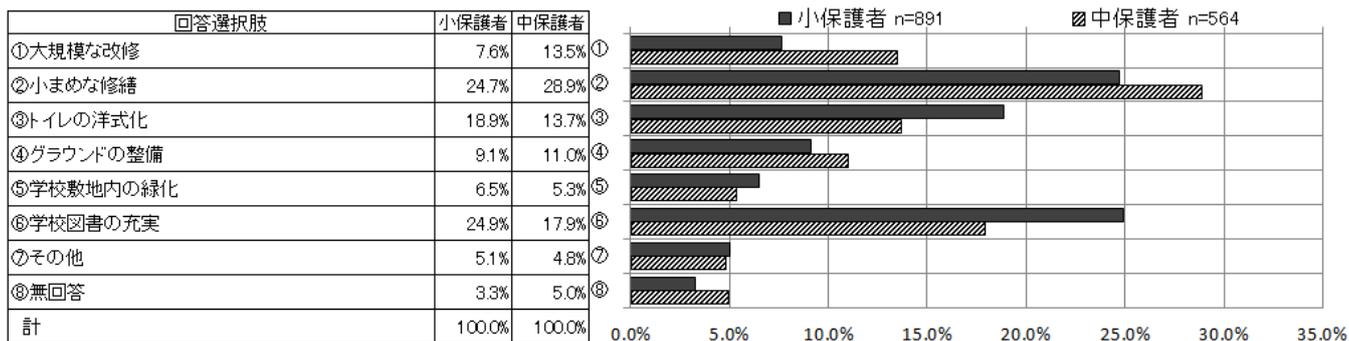


□小学5年生保護者 「子ども一人ひとりをよく見てくれる先生」が最も多く33.5%、次に「子どもに慕われ、温かみのある先生」が19.3%、「よくわかる授業づくりをめざす先生」が16.4%と続く。

□中学2年生保護者 「子ども一人ひとりをよく見てくれる先生」が最も多く30.9%、次に「よくわかる授業づくりをめざす先生」が20.2%、「子どもに慕われ、温かみのある先生」が16.8%と続く。

※小中学生保護者とも、同様の傾向となっています。

### 問 19 教育を推進するうえで、どのような学校施設整備が必要か？



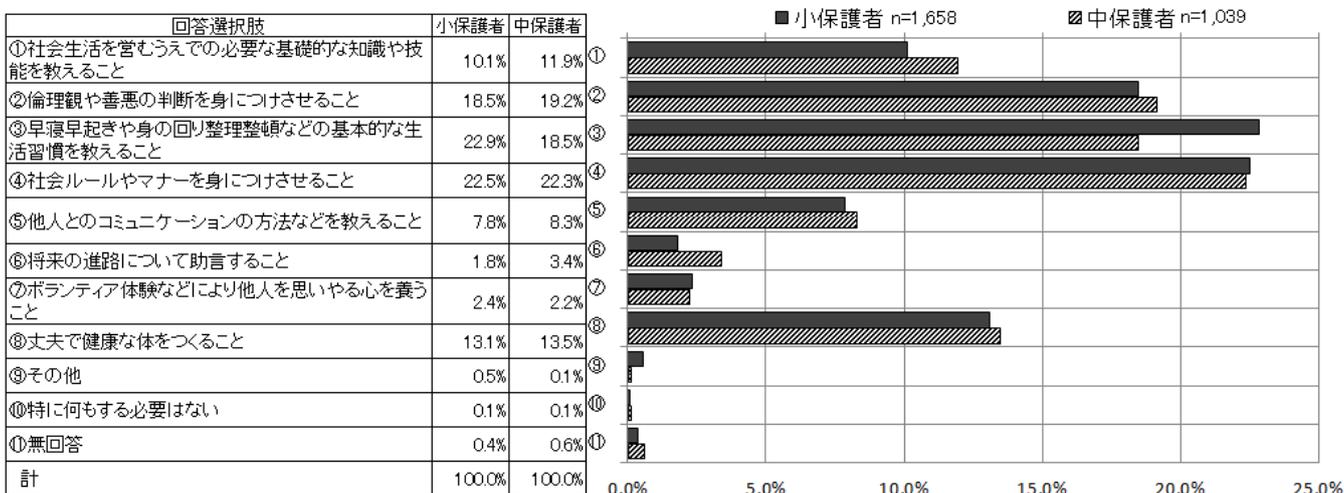
□小学5年生保護者 「学校図書の充実」が最も多く24.9%、次に「小まめな修繕」が24.7%、「トイレの洋式化」が18.9%と続く。

□中学2年生保護者 「小まめな修繕」が最も多く28.9%、次に「学校図書の充実」が17.9%、「トイレの洋式化」が13.7%と続く。

※小中学生保護者とも、同様の傾向となっています。

## Ⅲ 家庭での教育や地域で子どもを育てることについて（問20～問27）

### 問 20 家庭での教育として大切と思うことは？



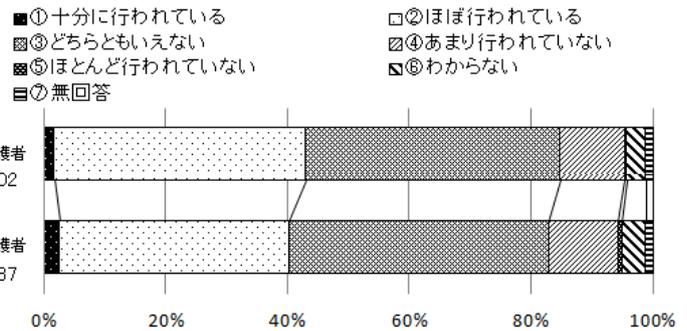
□小学5年生保護者 「早寝早起きや身の回り整理整頓などの基本的な生活習慣を教えること」が最も多く22.9%、次に「社会ルールやマナーを身につけさせること」が22.5%、「倫理観や善悪の判断を身につけさせること」が18.5%と続く。

□中学2年生保護者 「社会ルールやマナーを身につけさせること」が最も多く22.3%、次に「倫理観や善悪の判断を身につけさせること」が19.2%、「早寝早起きや身の回り整理整頓などの基本的な生活習慣を教えること」が18.5%と続く。

※小中学生保護者とも、同様の傾向となっています。

**問 21 一般的にみて生活習慣や礼儀などが、家庭において期待される教育が行われているか？**

回答選択肢	小保護者	中保護者
①十分に行われている	1.7%	2.6%
②ほぼ行われている	41.4%	37.7%
③どちらともいえない	41.7%	42.6%
④あまり行われていない	10.6%	11.4%
⑤ほとんど行われていない	0.3%	0.8%
⑥わからない	3.2%	3.6%
⑦無回答	1.2%	1.3%
計	100.0%	100.0%



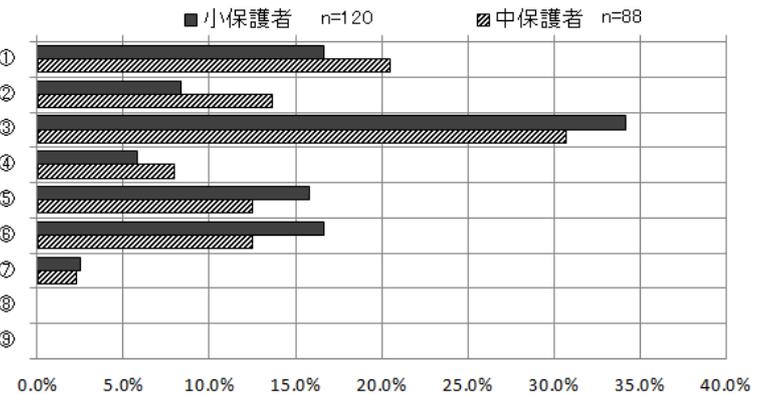
□小学5年生保護者 「どちらともいえない」が最も多く41.7%、次に「ほぼ行われている」が41.4%、「あまり行われていない」が10.6%と続く。

□中学2年生保護者 「どちらともいえない」が最も多く42.6%、次に「ほぼ行われている」が37.7%、「あまり行われていない」が11.4%と続く。

※小中学生保護者とも、「行われている」という回答が、「行われていない」回答を上回っています。

**問 22 一般的にみて家庭において期待される教育が低下している原因は？**

回答選択肢	小保護者	中保護者
①しつけや教育に無関心な親の増加	16.7%	20.5%
②子どもとの接し方がわからない親の増加	8.3%	13.6%
③過保護、甘やかせすぎや過干渉な親の増加	34.2%	30.7%
④しつけや教育に関する相談相手の不足	5.8%	8.0%
⑤学校や塾など他の教育機関に対するしつけを依存する親の増加	15.8%	12.5%
⑥子どもと接する時間の不足	16.7%	12.5%
⑦その他	2.5%	2.3%
⑧わからない	0.0%	0.0%
⑨無回答	0.0%	0.0%
計	100.0%	100.0%



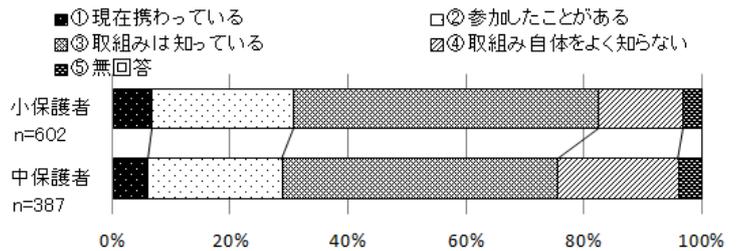
□小学5年生保護者 「過保護、甘やかせすぎや過干渉な親の増加」が最も多く34.2%、次に「しつけや教育に無関心な親の増加」と「子どもと接する時間の不足」が16.7%、「学校や塾など他の教育機関に対するしつけを依存する親の増加」が15.8%と続く。

□中学2年生保護者 「過保護、甘やかせすぎや過干渉な親の増加」が最も多く30.7%、次に「しつけや教育に無関心な親の増加」が20.5%、「子どもとの接し方がわからない親の増加」が13.6%、「学校や塾など他の教育機関に対するしつけを依存する親の増加」と「子どもと接する時間の不足」が12.5%と続く。

※小中学生保護者とも、ほぼ同様の傾向となっています。

**問 23 地域との連携や協力のもと、子どもたちを育む活動や取組みに参加したことがあるか。または、そうした活動を知っているか？**

回答選択肢	小保護者	中保護者
①学校のボランティア活動に現在携わっている	6.5%	5.9%
②学校のボランティア活動に参加したことがある	24.3%	22.7%
③参加したことはないが、取組みは知っている	51.7%	46.8%
④取組み自体をよく知らない	14.5%	20.7%
⑤無回答	3.2%	3.9%
計	100.0%	100.0%



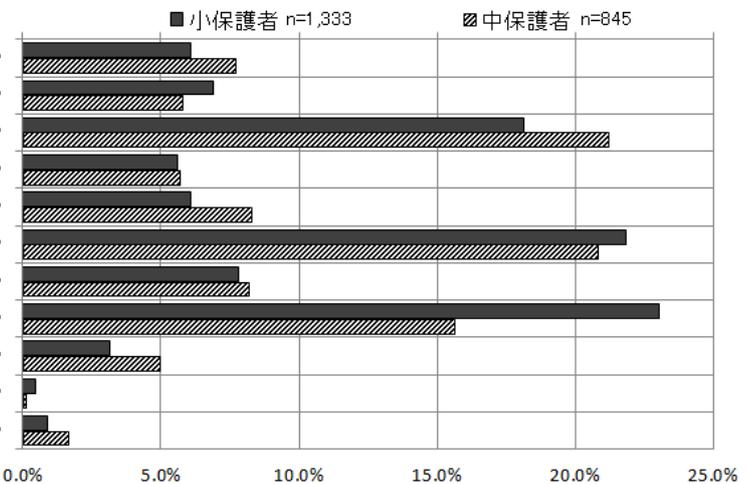
□小学5年生保護者 「参加したことはないが、取組みは知っている」が最も多く51.7%、次に「学校のボランティア活動に参加したことがある」が24.3%、「取組み自体をよく知らない」が14.5%と続く。

□中学2年生保護者 「参加したことはないが、取組みは知っている」が最も多く46.8%、次に「学校のボランティア活動に参加したことがある」が22.7%、「取組み自体をよく知らない」が20.7%と続く。

※小中学生保護者のうち、学校のボランティア活動の取組みを知らない保護者が、約2割います。

**問 24 子どもの教育に対して、地域としてできることは？**

回答選択肢	小保護者	中保護者
①地域での活動やまちづくりへの参加意識の醸成	6.1%	7.7%
②スポーツ活動や習い事の機会の提供	6.9%	5.8%
③自然とのふれあいや社会体験(職業体験、ボランティア体験など)の機会の提供	18.2%	21.2%
④地域の伝統や文化を体験する機会の提供	5.6%	5.7%
⑤学校行事や総合的な学習の時間などの学校活動の支援	6.1%	8.3%
⑥身近な危険から子どもを守る活動の実施	21.8%	20.8%
⑦高齢者や障害者との交流機会の提供	7.8%	8.2%
⑧子どもたちが安心して遊べる場の提供	23.0%	15.6%
⑨間接的に子どもを育む事業や学校への応援(寄附や環境整備などの奉仕)	3.2%	5.0%
⑩その他	0.5%	0.1%
⑪無回答	0.9%	1.7%
計	100.0%	100.0%



□小学5年生保護者 「子どもたちが安心して遊べる場の提供」が最も多く23.0%、次に「身近な危険から子どもを守る活動の実施」が21.8%、「自然とのふれあいや社会体験(職業体験、ボランティア体験など)の機会の提供」が18.2%と続く。

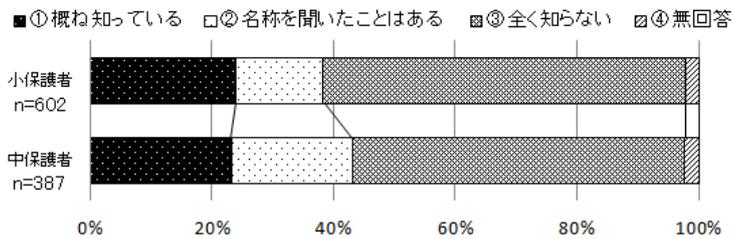
□中学2年生保護者 「自然とのふれあいや社会体験(職業体験、ボランティア体験など)の機会の提供」が最も多く21.2%、次に「身近な危険から子どもを守る活動の実施」が20.8%、「子どもたちが安心して遊べる場の提供」が15.6%と続く。

※小中学生保護者とも、同様の傾向となっています。

IV 小学校と中学校の連携などについて（問 25～27）

問 25 帯広市がすすめている幼稚園・保育所から小学校、中学校へと「育ち」と「学び」をつなぐためのエリア・ファミリーの取組みについて、どの程度知っているか？

回答選択肢	小保護者	中保護者
①概ね知っている	23.9%	23.3%
②エリア・ファミリーという名称を聞いたことはある	14.5%	19.9%
③全く知らない	59.5%	54.5%
④無回答	2.2%	2.3%
計	100.0%	100.0%



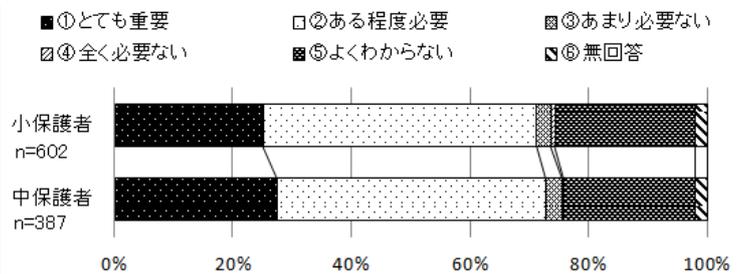
□小学5年生保護者 「全く知らない」が最も多く59.5%、次に「概ね知っている」が23.9%、「エリア・ファミリーという名称を聞いたことはある」が14.5%と続く。

□中学2年生保護者 「全く知らない」が最も多く54.5%、次に「概ね知っている」が23.3%、「エリア・ファミリーという名称を聞いたことはある」が19.9%と続く。

※小中学生保護者の半数以上が、エリア・ファミリーについて、「全く知らない」と回答しています。

問 26 帯広市がすすめている幼稚園・保育所から小学校、中学校へと「育ち」と「学び」をつなぐためのエリア・ファミリーの取組みについて、どう思うか？

回答選択肢	小保護者	中保護者
①とても重要	25.1%	27.4%
②ある程度必要	46.0%	45.2%
③あまり必要ない	2.5%	2.8%
④全く必要ない	0.7%	0.3%
⑤よくわからない	23.6%	22.2%
⑥無回答	2.2%	2.1%
計	100.0%	100.0%



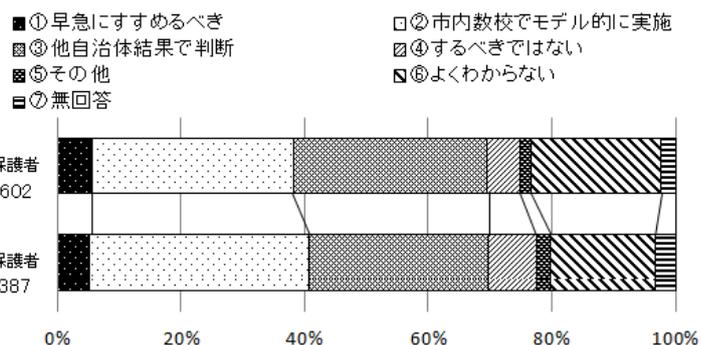
□小学5年生保護者 「ある程度必要」が最も多く46.0%、次に「とても重要」が25.1%、「よくわからない」が23.6%と続く

□中学2年生保護者 「ある程度必要」が最も多く45.2%、次に「とても重要」が27.4%、「よくわからない」が22.2%と続く

※小中学生保護者の約7割が肯定的にとらえています。

## 問 27 小中一貫教育のすすめ方は？

回答選択肢	小保護者	中保護者
①早急に小中一貫教育をすすめるべき	5.6%	5.2%
②市内数校でモデル的に実施し、その検証結果をもとに判断すべき	32.6%	35.7%
③ほかの自治体で実施している結果をもとに判断すべき	31.4%	28.9%
④小中一貫教育をするべきではない	5.3%	7.8%
⑤その他	1.8%	2.3%
⑥よくわからない	20.9%	17.1%
⑦無回答	2.3%	3.1%
計	100.0%	100.0%



□小学5年生保護者 「市内数校でモデル的に実施し、その検証結果をもとに判断するべき」が最も多く32.6%、次に「ほかの自治体で実施している結果をもとに判断するべき」が31.4%、「よくわからない」が20.9%と続く。

□中学2年生保護者 「市内数校でモデル的に実施し、その検証結果をもとに判断するべき」が最も多く35.7%、次に「ほかの自治体で実施している結果をもとに判断するべき」が28.9%、「よくわからない」が17.1%と続く。

※小中学生保護者とも、「市内数校でモデル的に実施し、その検証結果をもとに判断するべき」「ほかの自治体で実施している結果をもとに判断するべき」の回答が6割強、「よくわからない」の回答割合が約2割となっています。